

TC 通信

No 87 2019年7月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。(旧 YA 通信)
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。



『一生ついてまわる家事のキホンが身につく本』

大人の常識研究会/編著 大和出版 590/イ/19

ボタン付けにアイロンがけ。「自分でやって」と言われてもなかなかやる気はでないし、いざやってみても難しいですよ。今はできなくても誰かがやってくれるかもしれませんが、大人になってからもやれないとちょっと恥ずかしいかも…。

大人になったときに「しまった」と思うよりも、今からできるようにしておきませんか？

ボタン付けのほかにも料理・掃除の基本、はたまたスケジュール管理能力の磨き方まで、タイトルどおり一生ついてまわる家事の基本がやさしく、分かりやすく載っています。文字ばかりではなく絵も描かれていますので、本が苦手な人も楽しく読むことができるのではないのでしょうか。

お母さんやお父さんに聞くのはちょっと…、友達に聞くのも何か違う…そう思ったあなたは是非この本を読んでみてください。大人でも“ため”になる本です。

名作 たからばこ



『黄金虫』

(『21世紀版少年少女世界文学館 第13巻 黒猫・黄金虫』)

井上 靖/企画編集 講談社 90/コウ/11-13 3F 児童

21世紀版少年少女世界文学館シリーズ(全24巻)の第13巻に『黄金虫』が収められている。今から170年以上前に、アメリカの作家であり詩人であるエドガー・アラン・ポーによって書かれた短編小説である。推理小説にとって当たり前となった「暗号」という要素を初めて用い、神秘的な雰囲気をよく醸し出している。

なんといっても主役は髑髏のように見える黄金色のこがね虫。語り手とその聡明な友人ルグラン、その従者のジュピターが、髑髏型の黄金虫と「暗号」を元に、海賊キャプテン・キッドの財宝を探し当てるまでを描く。ワクワク、ドキドキする冒険物語である。

英語の特性から解き明かされる暗号解読のおもしろさ、綿密に計算されたストーリー構成など、ポーの鮮やかな手腕を心ゆくまで楽しむことができる。

因みに、『黄金虫』の暗号解読は、コナン・ドイルの『踊る人形』、江戸川乱歩の『二銭銅貨』に影響を与えたと言われる。「暗号」にはまった方はこちらも是非！

テーマ ひんやり

暑い夏を涼しく過ごすために、みなさんはどんな工夫をしていますか？
冷たいものを食べる？避暑地に出かける？それとも…怪談を楽しむ？
ひんやり気分を味わえそうな本を紹介します。

『ひんやり夏和菓子』

鳥居 満智栄/著 淡交社 596.6/ヒ/18 3階実用



夏になると食べたくなる、ひんやり冷たい甘いもの。定番はアイスやかき氷でしょうか。もちろんそれらもよしですが、夏和菓子もオススメです。

ぶるぶるっとして透明(半透明)なその姿は、日本のジメジメ蒸し暑い気候で疲れきった私たちに涼をもたらしてくれます。

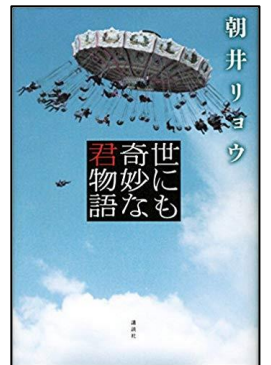
そんな夏和菓子がお家で作れると知ったら…もう作るしかありませんよね☆

定番の「わらびもち」をはじめ、見ためも美しい「ハーバリウム」などオリジナルのものも載っています。調理に電子レンジが使われていたり、材料に市販のペットボトル飲料を使用したものもあったりと、普段は難しくてなかなかできない和菓子作りを気軽に楽しむことができます。今年は夏和菓子を作って食べて日本の夏を楽しみましょう！！

『世にも奇妙な君物語』 朝井 リョウ/著 講談社 F/アサ/15 4階一般

直木賞作家・朝井リョウは、人気テレビドラマ「世にも奇妙な物語」の大ファンで、映像化されることを夢見て勝手に脚本を書き下ろしたという。5編からなる短編集である。それぞれ、現代社会特有の題材を取り上げながらも、現実でありそうで、なさそうで、常に不安を抱え込んでいるようなストーリー展開は、まさに本家独特のテイストそのもの。

よくわからない不思議な世界の先に待ち受ける意外な真相、それに続く驚愕の世界、見せかけの姿から現実の姿へとガラリと変わる状況の逆転や、信じていたことがすべて壊れていく崩壊感覚など、ひんやり感満載なのである。本家のドラマをご存じでも、ご存じなくても、十分楽しめること請け合い。本書の扉を開いて、「君」のための「世にも奇妙な」世界へと足を踏み入れてみよう。そして、存分に涼んで行かれたし。



『カメラマンのための日本の滝ベスト100』

北中 康文/写真・文 ニューズ出版 743.5/カ/08 4階一般



暑くなってきたこの季節、こんな涼の取り方もたまにはどうですか？

実物を見に行けると本当はいいのですが、現地には行けない方たちのために、この本！そうエア花見ならぬ、エア滝見学。写真からはマイナスイオンはできませんが、ひんやり感はばっちりです。荘厳な滝の音が、今にも聞こえてきそうな素晴らしい写真の本なのです。いえ、そっと耳をすませてください。ほら聞こえてきませんか？

TC通信なのに渋すぎると思うかも知れません。ですが、きっと暑さで荒みそうな心や体に効果は抜群。全国各地の滝の詳細や見所の時間なども、余すことなく掲載されていますので、夏休みの旅行などでお近くまで行かれる予定がありましたらお寄りください。

「カメラマンのための」と銘打ってあるだけに、滝の魅力が存分に味わえる一冊となっています。

『傷物語』 西尾 維新/著 講談社 F/ニシ/15

暑い夏こそ怖い話を読んでみたくありませんか？日本では昔から“怪談”が語り継がれてきましたが、ティーンズのあなたたちには『傷物語』がオススメです！

このお話はライトノベル「化物語」の主人公・高校生の阿良々木暦（あららぎこよみ）が終業式の夜、血が凍るほど美しい金髪の吸血鬼と出会うことから始まる物語。吸血鬼に出会ってしまったために“人ならざるもの”になってしまった苦悩、そして、同級生・羽川翼（はねかわつばさ）との友情が描かれています。

この機会に吸血鬼・ドラキュラに関する本、伝説、小説など多数あるのでいろいろと読んでみるのも面白いかもしれませんね。

この夏“怪奇の世界”に足を踏み入れてみては？



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)



橋賢亀/装画
内海由/装幀

『青の王』 廣嶋 玲子/著 東京創元社 F/ヒロ/17 4階一般

砂漠にある奇跡の都ナルマーンは、人間の王が魔族を支配しながら繁栄していた。ある時、孤児のハルーンが塔に閉じ込められた不思議な少女ファラと出会ったことから物語は動き始める…。

アラビアンナイト風？異世界ファンタジー3部作の第1作です。表題作の後世を描いた2作目『白の王』は出版済み、その25年後を『赤の王』として著者廣嶋玲子さんが執筆する予定と明言しております。(トリコロールカラーの王たちは？人間と魔族の関係は？)

ファンタジー好きには堪らない、挿絵もステキな作品です。ぜひご一読を！

図書館員Aの本棚

歴史の偉人。かの方々が成し遂げたことなどは、社会の授業などで勉強して知っている方が多数だと思いますが、みなさんは偉人たちがどのような死を迎えたのか知っていますか？今回はそんな偉人たちの「死」について書かれた本を紹介したいと思います。意外な死因に吃驚してください。

これが俺達、私達の死に様だ！しかと刮目せよ（武将風に）。



『戦国武将の死亡診断書』

酒井 シツ/監修
戦国☆保健委員会/編・著
エクスナレッジ
281/セ/11 4階一般



『あの方を斬ったの…
それがしです』

長谷川 ヨシテル/著
ベストセラーズ
281/ア/18 4階一般



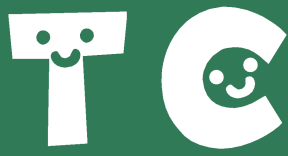
『世界の偉人
あの人[最期]』

新人物往来社
280.4/セ/08 4階一般



『日本史有名人の
身体測定』

篠田 達明/著
KADOKAWA
281/ニ/16 4階一般



進路相談室



Q. まだ将来の進路が決まっておらず、大学も文系にするか理系にするか迷っています。
何か参考になるいい本はありますか？

A. 『「文系？」「理系？」に迷ったら読む本』

竹内 薫/著 PHP研究所 00/フ/18 はいかがでしょう。



「自分が文系と理系、どちらに向いているのかわからない」「数学が苦手だから文系だと思っているけど、それでいいのかな?」「将来のためにはどちらを選ぶのが正解なんだろう?」などと悩んでしまいますよね!

著者は子どものころからサイエンスが大好きで、大学院では物理学を専門に学びました。しかし理系一本だったわけではありません。高校卒業後に進学したのは東大文科一類。大学卒業後に留学したカナダの大学院では当初“哲学”を学んでいたこともあるそうです。そして結果的にサイエンス作家に…。そんなユニークな著者の経験をふまえて、進路の選択で迷った時どう考えればいいのか書かれています。

AI時代の今だからこそ、みなさんは選択をせまられていると言えるかもしれません。この本では、学部の選び方と文系理系の大学受験のポイントも書かれています。この本があなたたちの“よりよい道”を見つける手助けとなりますように…。



ティーンズコーナーとは??

中高生（ティーンズ）世代に向けたさまざまなジャンルの本を集めたコーナー。図書館3階にあります。大きな看板が目印！

児童書よりも文字数が多くむずかしい本へのステップアップをはじめ、悩み解決のヒントになる本・知識を深める本・趣味を広げる本などをたくさん用意しています。

「〇〇について調べたい!」
「△△の本はどこ?」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。